



吉敷の木
「もみじ」



吉敷の花木
「うめ」



吉敷の草花
「マリーゴールド」



吉敷の草花
「サルビア」

ふるさとだよ

吉敷

FURUSATO DAYORI YOSHIKI

2022

8

No. 797



目指せロコソラーレ!
お気軽スポーツ講座(カローリング)



3年ぶりの開催 好プレー連発!
親睦ソフトボール大会



誰もが安心して暮らせるまちに
友愛訪問活動グループ員研修会



よく狙って…えいっ!
お気軽スポーツ講座(クッパ)

CONTENTS

インフォメーション…… 2

【トピックス●】
「吉敷まちづくり計画」の更新に
取り組んでいます…… 4

【トピックス●】
青少年の安全を守るため
夏休み夜間巡回を実施中…… 4

レポート…… 5

みんなで防災…… 6

リレーエッセイ…… 7

健康レシピ…… 7

イベントカレンダー…… 8

かけはし…… 8

よしき人



YOSHIKI
DATA

【人口】14,660(前月比 -4) 【世帯数】6,349(前月比 -4)

令和4年7月1日現在

イベント

行事等につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点などから中止または延期となる場合がありますので、予めご了承ください。

お月見団子づくり

中秋の名月を前に、楽しくコロコロお月見団子を作りませんか。
たくさん作って、みんなで試食しましょう。

【とき】9月3日(土)10時～12時

【場所】地域交流センター 調理実習室

【講師】食生活改善推進員

【対象】幼稚園から小学生20名(先着順)

※小学生未満は保護者同伴

【参加費】200円

【準備】エプロン、三角巾

【申込・問い合わせ】地域交流センター

☎083-922-3915

※新型コロナウイルスの感染拡大状況により、実施内容の変更や中止の可能性があります。



過去の講座の様子

こどもドローン講座

ドローン(無人航空機)について知り、操縦を体験してみませんか！

【とき】9月10日(土)10時～12時

【場所】地域交流センター 講堂

【対象】小学生10名(先着順) ※2年生

以下は保護者同伴

【講師】フリーエージェント

代表 山口晋氏

【参加費】なし

【申込・問い合わせ】

地域交流センター

☎083-922-3915



子育て講座

「みんなであつまろう」

どなたでも参加できます。ママ同士で子育ての情報交換をしたり、おしゃべりをして楽しい時間を過ごしましょう。

【とき】9月16日(金)10時～11時

【場所】地域交流センター 和室

【対象】20名

【参加費】なし

【準備】飲み物

【主催】母子保健推進協議会

【申込・問い合わせ】地域交流センター

☎083-922-3915

法定外公共物等整備事業

山口市では、里道や水路など法定外公共物の補修や交通安全施設の設置等を行う地元関係者に対して、経費を補助する事業を実施しています。

令和4年度事業の二次募集にあたり、条件等もありますので、まずは地域交流センターにご相談のうえ、期限までに申し込んでください。

事業は、予算枠や緊急度、安全確保などを検討して決定します。申し込み前に着工されたものは対象となりません。

【申込期限】9月22日(木)

【問い合わせ】地域交流センター

☎083-922-3915

反射鏡設置等事業

地域づくり協議会では、交通事故防止のため、反射鏡の新設・補修を実施しようとする町内会等に対して、経費を補助する事業を実施しています。

令和4年度事業の二次募集にあたり、条件等もありますので、まずは町内会等を通じてご相談のうえ、期限までに申し込んでください。

事業は、予算枠や緊急度、安全確保などを検討して決定します。申し込み前に着工されたものは対象となりません。

【申込期限】9月22日(木)

【問い合わせ】地域づくり協議会

☎083-922-3344

鴻南地域包括支援センターからのお知らせ

「運転免許自主返納者に対する支援を」存じですか」

運転免許を自主返納された方は、「運転卒業証・運転卒業業者サポート手帳」や「運転経歴証明書」を取得することが出来ます。運転経歴証明書は身分証明書としても活用できます。

また、タクシー料金の割引や各種サービスの割引などが受けられます。

「手続き先」

●山口警察署

☎083-924-0110

●総合交通センター

☎083-973-2900

写真や発行手数料が必要な物もありますので、予めお問い合わせ下さい。

※9月には吉敷地域交流センター図書室にて、認知症に関する情報の掲示等を行う予定です。お楽しみに！

【問い合わせ】山口市鴻南地域包括支援センター

☎083-934-3333



行事等中止のお知らせ

■よしき夏まつり

今年度のよしき夏まつりは、新型コロナウイルス「第7波」の急激な感染拡大状況を鑑み、開催を見合わせることをいたしました。

コロナ禍以降3年連続での中止となり、寂しい思いをされている方も多いことと思います。

来年から再開し、夏まつりの伝統を未来へ継承していけることを願い、これまでのよしき夏まつりを振り返ります。

人であふれる会場



こんな「密」も、3年前までは毎年恒例の夏の風景でした！

山口一の「大やぐら」

夏まつりの中心には、脈々と受け継がれてきた吉敷の「大やぐら」。



消防団員の力により組み立てられます。もしかして「世界一」？

まつりの起源は「盆踊り」

お盆に帰って来られるご先祖様の霊をもてなし、楽しんでもらうためのものです。実は、夏まつりの起源はここにあるんですよ！



やぐらを中心に、参加者みんなで「盆踊り」。

ステージ発表の「コマ」



各団体が素敵なステージを見せてくれます。

企画委員の奮闘と伝統の継承

お祭りの運営等をベテラン実行委員から教わりながら、伝統を受け継ぐべく奮闘しているのが企画委員です。



趣向を凝らしたステージイベントは毎年好評を博しています。

恒例イベント あめまき



夏まつりのお楽しみといえば、恒例の「あめまき」と「お楽しみ抽選会」も忘れてはいけません。

来年こそ開催を

次代を担う子ども達にふるさと吉敷を感じてもらうため、また受け継がれてきた伝統を残していくために、これからも頑張っていけます。おまつりに関わりたいという方は、ぜひ地域交流センターへご連絡を！



地域の皆さまに楽しんでいただくべく準備を進めていましたが、開催することができず大変無念です・・・(涙)。来年こそ、一緒におまつりを楽しみましょう！

(企画委員より)



「吉敷まちづくり計画」の 更新に取り組んでいます

「吉敷まちづくり計画」は、行政と地域が協働して取り組む地域づくり計画です。

計画の期間は5年間で、現行の計画が本年度末をもって終了するため、昨年度より、地域づくり協議会と自治会、地区社協の3団体が連携し、現行計画の検証と更新に取り組んでいます。

「住民アンケート」の実施

計画の更新に向けて、町内会・自治会に加入している世帯を対象とした住民アンケートを実施しました。

これからの地域づくりにおいては、若者や女性の意見を積極的に取り入れることが必要であるという専門家のアドバイスにより、対象者を中学生以上とし、世代別・性別に集計を行なっています。

地域活動に対する意識も質問

質問項目については、日常生活において不安に思っていることや困っていることなど地域の課題に関するもののほか、各地域活動団体において後継者の確保が課題になっていることから、地域活動への関心の有無や協力できる活動などを伺っています。



アンケートによる地域課題

情報伝達としてLINEの利用が広がっており、地域活動における活用を検討する必要があります。

また、日常生活で困っていることの上位として「仲間と気軽に集まれる場所がないこと」が上げられるなど、様々な課題が見受けられます。

地域活動への関心と参加

地域活動について、56%の方が、「関心があるが参加していない」と回答しており、参加へのきっかけづくりが重要であることが伺えます。

座談会の開催

今回のアンケート調査の結果を基に、近く、住民や地域活動団体の方々と座談会を開催することになっています。ご参加をお願いします。



青少年の安全を守るため 夏休み夜間巡回を実施中

「夏休み夜間巡回」は、地区青少年健全育成協議会が中心となり、少年相談員、良城小・瀧南中PTA、子ども会、民生児童委員協議会が連携して、毎年夏休み期間中に実施しています。中高生を中心とした青少年の非行防止および安全確保のため、夜間に地区内の見回り・声掛けを行います。巡回には、維新公園交番と地区交通安全・防犯対策協議会の青パトも随行します。

夜間巡回の意義

夜間巡回の目的は、青少年の危険を未然に防ぐことにあります。不要なトラブルに巻き込まれることのないよう、声掛けをして、早めの帰宅を促します。

また、バトカーや青パトと一緒に巡回する姿を見せることは特に犯罪・トラブルの抑止力となり、継続実施に意義があると考えています。



今年度の実施

今年度の巡回は、7月22日(金)から全10回を予定しています。実施内容は左記のとおりです。

【実施日】7月22日(金)、23日(土)、29日(金)、30日(土)、8月5日(金)、6日(土)、19日(金)、20日(土)、26日(金)、27日(土)

【巡回時間】21:00～22:10

【巡回ポイント】地域交流センター、赤田神社前バス停、マックスバリュ、上東第2公園、漫画倉庫Pほか

青少年の見守り推進

地区青少年健全育成協議会では、この巡回のほかにも、「こども110番の家」の普及啓発をはじめとした青少年見守りの推進に取り組んでいます。今後も、関係機関と連携し、見守り活動を進めていきます。



レポート

ポッチャで楽しく交流

6月19日(日)、良城小学校体育館で3年ぶりに「吉敷ポッチャ大会」を開催しました。
子どもを含めた3人でチームを組んだ4町内8チームが参加し、町内対抗で得点を競いました。



ポッチャはルールもわかりやすく子どもから高齢者まで一緒にできる競技なので、みんなで楽しく盛り上がりましたよ。熱戦の結果、優勝は下東B、準優勝は中村B、第3位は佐畑Bでした。
※吉敷地区社協では、ポッチャの用具の貸出しを行っています。レクリエーション等でご利用ください。



いざーという時のために

6月24日(金)、母子保健推進員とつどいの広場「楽楽楽」の共催により、子育て講座「小児救急」が開催されました。

小児を持つ母親を中心として参加者は、山口消防署員を講師に、小児の体調不良等の緊急時に行うべき対応について学びました。
緊急通報から救急車が到着するまでの対応の実演にも挑戦しましたよ。



願いごとかないますように！

6月25日(土)、地域交流センターで「七夕かざりづくり」を開催しました。

吉敷美術部の皆さんを講師に、折り紙などを使い、工夫を凝らした飾りをみんなで楽しく作りしました。願い事を書いた短冊と一緒に飾り付け、大きな笹がとっても賑やかになりました。



攻守に好プレー 親睦ソフト

6月26日(日)、維新公園ちよるる広場で「親睦ソフトボール大会」を開催しました。

今年度は、各町内から4チームが参加。次々生まれる好プレーに歓声が上がっていましたよ！各チームの応援にも力が入り、賑やかな大会となりました。
激戦の結果、佐畑自治会が優勝、赤田町内会が準優勝を勝ち取りました。



大喜びの収穫体験

6月27日(月)、吉敷幼稚園の園児たちが、地区環境づくり推進協議会の協力のもと上東の小林農園でじゃがいもときゅうりの収穫を体験しました。

大きなきゅうりととんどん出てくる3種のじゃがいもに、園児たちは大喜びでした！



歓喜と興奮を分かち合う 初のPV開催！

7月2日(土)、ソニースタジアム(秋田市)で開催されたレノファ山口VSBラウブリッツ秋田の試合のパブリックビューイングが、地域交流センターで行われました。

試合は1-0で見事レノファが勝利！1点差のハラハラ、今季アウェー初勝利の喜びと興奮を、参加者全員で分かち合いました。



ニュースポーツを体験

7月3日(日)、良城小学校体育館で「お気軽スポーツ講座」を開催しました。

内容は、「クッパ」「カローリング」という2種類のニュースポーツの体験。スポーツに親しむとともに、町内の垣根を越えて交流を楽しみました。



赤田ポッチャ

7月9日(土)、赤田公民館において、赤田ポッチャクラブが大林有利さん(下東)を招いて交流会を開催しました。

大林さんは、2019年に開催された「第21回日本ポッチャ選手権大会」でベスト8入りするなど、全国的に活躍しているポッチャの選手です。

ともにプレーし交流を楽しむとともに、大林さんの正確な投球には驚きの声があがっていましたよ。



夏休みの絵の宿題を一緒に

7月27日(水)、28日(木)に、地域交流センターで子ども絵画教室(講師:吉敷美術部)を開催しました。

参加した児童は、事前に描くテーマを決めて、図鑑や写真などを参考に、海を泳ぐお魚たちや未来のトラックなど、立派な絵を仕上げました。



交通安全功労者

永年にわたる地域の交通安全思想の普及と指導にあたられ、交通事故の防止に寄与された功績に対し、地区交通安全防犯対策協議会の中村昌彦さん(稲葉)、田中公吉さん(中村)が、市交通安全対策協議会より表彰を受けました。



また、団体の部では、社会福祉法人吉敷愛児園おとり保育園が、多年にわたる組織的な交通安全への取り組みが評価され、表彰を受けられました。



皆さん、おめでとうございます。地域のために、今後ともよろしくお願いします。

隣近所の絆を強くし、避難行動が出来る吉敷地区の実現

回覧板手渡し・声かけ運動を再徹底しましょう。「朝顔に釣瓶とられてもらい水」井戸の釣瓶に朝顔の葉が着きついて、その朝顔を取り除くことも忍びなく、近所の家に水をもらいに行った。と言う俳人・加賀千代の有名な俳句です。

ひと昔前は近所が互いに助け合って日々の生活を過ごしたものです。互助の大切さを詠った句でもあります。こう言った日常の何気ない住民同士の絆がありました。庶民の生活では習慣化していると言ってもよい位でした。この日常化と習慣化が、万一の災害時に大きな力を発揮したのです。



東日本・阪神淡路・熊本・大分などの大震災時、いずれもが、互助活動により多くの命が救われたということ。ある統計では互助・共助で救われた命は、90%に達するという結果も有ります。

回覧板を回す時は手渡しや渡す際の声かけが、日常的・習慣的に励行され、隣近所で運用されることが大事です。

何気ない活動ですが、その結果、段々と絆が結ばれ、災害時にも強い吉敷地域が実現します。

ぜひ習慣化してやってみてください。隣近所の会話が、困った時の助け合いの精神が出来てゆくものだと思います。

留守の場合でもちよつと時間をずらすなどしてお隣さんの安否、近況をお互いが見守るようにしましょう。

付き合にくいお隣さんとうまく付き合うポイント

①挨拶を大切にします。

②地域のルールは守る。

③生活音に気をつける。

④頂きものは、もらいっぱなしにしない。

⑤つかず離れず深入りはしない。

⑥多少のことは、「お互いさま」と割り切る。

(女性の美字「トラブルを未然に防ぐ」田浦なご近所付き合いの「コツ」より抜粋)

「回覧板手渡し・声かけを習慣化する」

回覧板は、毎月、町内をめぐりその際の手渡し、声掛けは、地域住民にとって、地域と繋がりができるかけがいのないものです。

この日常的と習慣化をキーワードにして、災害に強い吉敷地域へ変貌させましょう。

(吉敷地区防災会)

リレーエッセイ

Relay Essay

027

なかばら ひろたか
中原 裕孝さん(中尾西)



中尾西地区を紹介させてください。

私が住んでいる中尾西集落は南北に長く、北方には「東鳳凰山」という山口市を代表する山が聳え立ち、容姿の美しさから「よしき富士」とも呼ばれ、多くの人々から親しまれ、愛されています。東鳳凰山山頂で迎える初日の出は新たな輝きの中に希望の色を注いでくれています。そして、春から秋冬にかけては、登山者の話し声や鈴の音が登山道周辺の木々の間から響き渡ります。緑の葉がリズムカルでさわやかなダンスを交えて迎えてくれます。特に春先は、卒業記念の思い出登山や課外学習で登山をされます。人間と自然とがとりなす協奏が、時をさわやかに、未来の楽しさと希望を導いてくれているようです。そして、話し声や鈴の音が木々や緑の葉の間から隣の山々へ、気流という乗り物に乗って移動をしています。その「東鳳凰山」の谷あいの小川から西の浴川へと流れ出る水は、質も良く、この地区における人々の生活を永く支え多くの恵みを今日まで授けてくれました。これからも、この大自然がもたらすこの営みはそこに人々がすみ

続ける限り止まる事を知らないでしょう。

その流れに沿う川下の東側にある舌状の台地には、国指定遺跡の「凌雲寺跡」があります。大内義興の菩提寺とされており、多くの謎に包まれたお寺の様です。今も発掘が続いております。その現場では建物跡や大内氏家紋入りの瓦や、堀の跡、庭があったと思われる跡の様なものが出土しているようです。茶碗も出てきております。そして、地上に大きく出ているのが、惣門跡と言われる石垣の雄大な構えは群を抜き見学者の心に、より強い存在感を押し付けています。星が近く見える台地の上で500年前を覗いてみませんか。ワクワク心が躍ります。発掘に新しい期待が躍ります。また、この台地で中秋の名月と名をうって観月会を行っております。更に、凌雲寺跡の南方に延びるこの台地で収穫されたお米は不思議なほどおいしい。あまり知られていない隠れた味を持つお米と思います。

集落全体を包み込む東鳳凰山の長い裾野は、散歩、ジョギング、などでこの地を訪れた人々に自然の香りを惜しみ無く振りまいています。そしてこの先、東鳳凰山からの展望、凌雲寺跡での過去と未来の想像、夏のホタルの鑑賞、中尾の自然の地に立って清々さと活力の吸収してみませんか。中尾の美味しさと自然に触れて頂ければ幸いです。有難うございました。



健康レシピ

吉敷地区食生活改善推進員監修

こんにちは!
食推
です

22

「豚ももの肉豆腐」

体重管理におすすめのレシピです。

自分の適性体重知っていますか?

身長と体重からBMI(体格指数)を計算すると肥満度がわかります。

【計算式】体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)

やせ:18.5未満 標準:18.5以上~25未満 肥満:25以上



材料

【2人分】

- 豚もも肉(薄切り) 150g
(食べやすい大きさに切る)
- 片栗粉 適量
- 木綿豆腐 300g
- しょうが(せん切り) 1かけ分
- 白菜(又はきゃべつ) 200g
(ざく切り)

①

- 水 1カップ
- 焼肉のたれ 大さじ1

作り方

- ① 豚肉は片栗粉をまぶす
豆腐は2cm幅に切り、片栗粉をまぶす
- ② フライパンに白菜の軸、豆腐、豚肉、しょうが、白菜の葉の順に重ね入れる。
①を回しかけ、蓋をして中火で10分蒸し煮する。
- ③ ほぐしながら器に盛る。

バラ肉よりもも肉を使うと、
エネルギーダウン♪



1人分:エネルギー272kcal 蛋白質27.1g 脂質15.3g
食物繊維 3.2g 食塩相当量0.8g



1月	●夏休み講座「パルーンアート」 10:00～12:00
2火	
3水	●YOSHIKIラッピングミュージアム 10:00～17:00 ●広報委員会 17:00～
4木	●YOSHIKIラッピングミュージアム 10:00～17:00 ●町内会長会 18:30～
5金	●YOSHIKIラッピングミュージアム 10:00～17:00 ●夏休み青少年夜間巡回 21:00～
6土	●YOSHIKIラッピングミュージアム 9:00～15:00 ●レノファ山口 VS モンテディオ山形 19:00～(みらスタ) ●夏休み青少年夜間巡回 21:00～
7日	
8月	●移動市長室「やまぐち元気・未来トーク」 15:30～
9火	●夏休み講座「ゆかた着付け教室」 10:00～11:30
10水	
11祝	
12金	
13土	
14日	
15月	
16火	
17水	

18木	
19金	●夏休み青少年夜間巡回 21:00～
20土	●楽楽楽「誰でもどうぞの日」 9:30～12:00 ●レノファ山口 VS 水戸ホーリーホック 19:00～(みらスタ) ●夏休み青少年夜間巡回 21:00～
21日	
22月	●楽楽楽「誰でもどうぞの日」 10:00～15:00
23火	
24水	
25木	
26金	●夏休み青少年夜間巡回 21:00～
27土	●夏休み青少年夜間巡回 21:00～
28日	
29月	
30火	
31水	

9月のおもなイベント

- 3土 お月見団子づくり
- 4日 市民スポーツ大会
- 5月 あいさつの日
- 10土 こどもドローン講座 P.3
- 16金 子育て講座「みんなであつまろう♪」

「吉敷で観察できる野鳥」

今年は早くも6月に梅雨が明けてしまい、熱中症に注意が必要な時期になりました。暑くても健康維持のために夕方、肥中街道を散歩していますが、ホトトギスやアオバズクの鳴き声が盛んに聴こえてきます。

吉敷地域では1年を通じて38種類の野鳥を確認しましたが、日本で見られる鳥は約600種とのことで1割にも届きません。実際に何種類の野鳥が生息しているのか是非とも知りたいところです。

吉敷川沿いを散歩していると、年間を通じてスズメ・ヒヨドリ・メジロ・ハト・シジュウカラ・セキレイ・カワセミなどが観察できます。また、春はホトトギス・ウグイスなど、夏はツバメ・アオバズク、秋から冬にかけてモズやヒレンジャク・キレンジャクのさえずりが楽しめます。

吉敷も宅地造成が進んだため、以前はよく観察できたキジやヒバリが確認しづらくなったのは寂しい限りです。最近知って驚いたのは、シジュウカラやヤマガラ・コガラなどは「言葉」を操る能力があり、お互いにコミュニケーションを取っていることが証明されたことです。

これらの野鳥と会話ができるかもと想像しながら鳴き声に耳を澄ましてみてはいかがでしょうか。

広報委員 松永賢

【発行・編集】

吉敷地区広報委員会(〒753-0816 山口市吉敷佐畑一丁目4番1号)
☎083-922-3915 吉敷地域交流センター(地域担当)
☎083-922-0668 吉敷地域交流センター(行政窓口担当)
☎083-922-3344 地域づくり協議会・吉敷自治会・地区社協

吉敷地区地域づくり協議会ウェブサイト・フェイスブック
<https://www.yoshikibito.com/>

吉敷地区地域づくり協議会

検索

